

## つうけんグループのCSR活動

株式会社つうけん

### 1. はじめに

つうけんグループは、「こころと技術で社会のために」というコーポレート・スローガンのもと、情報通信設備の構築およびネットワーク・ソリューションを提供する企業集団として、ゆたかなネットワーク社会の発展に貢献し、お客様や株主様から高い信用と評価を得られるよう、企業価値を高めていくことを経営の基本方針としています。これに基づき、「つうけんグループ企業行動憲章」(図1)、「安全・品質・環境方針」(図2)を定め、社員一人ひとりが自覚し、個人として、企業としてさまざまなCSR活動に取り組んでいます。以下に、つうけんグループの

CSR活動の取組みをご紹介します。

### 2. つうけんのCSR活動

#### (1) お客様とともに

##### ① お客様の情報管理

大切なお客様の情報を管理するため、情報に関する方針・規程を定め、法令遵守をはじめとする情報セキュリティ体制に万全を期しています。プライバシーマークの認証(図3)を取得し、毎年、社員教育を行い情報管理の徹底に努めています。

##### ② CS活動の取組み

2009年度より、お客様宅内での工事終了後アンケートはがきを手渡し、お客様宅内での業務(SO工事と故障修理)について、お客様の満足度(CS)の維持・向上を目的と

して当社独自のCS調査を全道支店で実施して改善を図る取組みを行っています。今年度からはさらに活動の活性化に向けて、「つうけんCSマイスター」認定制度を設立します。これまでのCS活動結果を考慮し、一定のCS評価が得られた班については、「つうけんCSマイスター(Gold, Silver)」により認定し、CS向上のリーダーとしての位置付けを社内、外に明示します。CSマイスターは各支店CS委員会等において、CS向上リーダーとして活動の指導、支援を行い、活動の活性化を図っていきます。

#### (2) グループ会社とともに

##### ① 安全大会の開催で安全意識を高揚 “こころと技術で、社会のために”

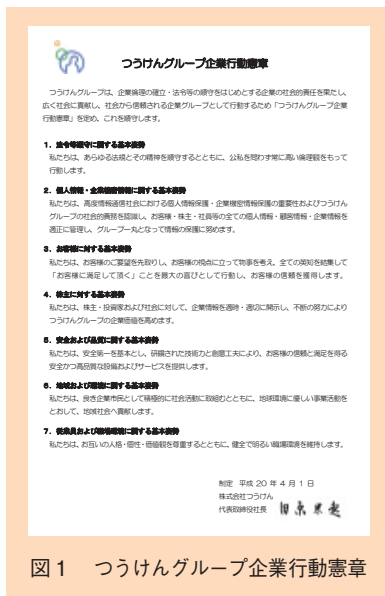


図1 つうけんグループ企業行動憲章

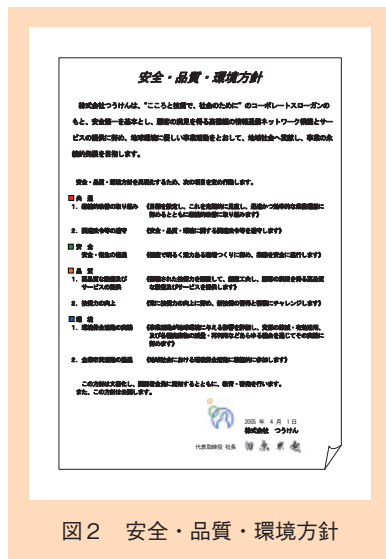


図2 安全・品質・環境方針



図3 Pマーク使用許諾証



会場ステージ



安全スローガン唱和

写真1 安全大会

のコーポレート・スローガンのもと、安全第一を基本として、お客様の満足と信頼を得られるサービスの提供に努めています。安全と品質の確保については、「関連法令などの遵守」はもちろんのこと、「安全・衛生の推進」「高品質な設備およびサービスの提供」「技術力の向上」を重点項目に掲げ、情報通信ネットワーク構築とサービス提供、地球環境に優しい事業活動を通して、地域社会へ貢献しながら事業の永続的發展を目指しています。

具体的な取組みとしては、安全意識の高揚と過去発生事故の風化防止を目的に年数回、各種の安全期間を設定しています。特に毎年2回実施する「特別安全強化月間」では、各拠点において協力会社も含めて参加する安全大会を開催しています（写

真1）。

② 社内技能競技会を実施

次世代を担う若手技術者を競わせ、切磋琢磨させることにより、技術力の強化・向上を図ることを目的に、2008年から「社内技能競技会」を開催しており、2010年4月に「第3回技能競技会」を開催しました。「光アクセス施工技能競技（架空設備）」「光アクセス施工技能競技（地下設備）」「Bフレッツサービス開通施工技能競技（男性・女性）」3種目で、本社および全道各支店、各グループ会社から選抜された技術者26名が参加し、約200名の観客が見守る中で各自の日ごろから鍛錬された情報通信工事の技術・技能を競い合いました。各種目の優勝者がITEA様主催の「第6回光通信工事技能競技会」へ出場しました。

2011年は東日本大震災の復旧・復興支援にあたり社内技能競技会は開催しませんでした。2012年には「第4回技能競技会」を開催し、再び技術・技能を競い合いました（写真2）。

(3) 社員とともに

① 長時間労働の解消に向けた労使間の取組み

労使間で密接な話し合いを行いながら、毎週水曜日をノー残業デーに設定したり、長時間労働者への医師による面談・指導を、法令で定める以上に充実させるなど、時間外労働の削減に積極的に取り組んでいます。

② 公益通報制度を運営

コンプライアンス経営への取組みを強化するために、つうけんおよびグループ会社では公益通報者保護規程を策定しました。これは公益通報者保護法と内閣府のガイドラインに基づいて、社員や契約社員、嘱託、派遣社員からの通報による組織的、または個人的な法令違反行為などの早期発見と是正を図ることを目的とし、公益通報制度を適正に運営するためのものです。

③ 全社コスト改善活動の取組み

本社各組織・支店別に取組み施策を検討し改善目標金額を定め、四半



競技模様（架空）



競技模様（室内）



競技模様（地下）

写真2 社内技能競技会

期ごとに成果を報告しています。コピー用紙・トナー等事務用品削減、携帯電話のプラン変更による通信費の削減、光熱費の削減、リース車両の削減や共有化などに取り組み、2011年度は全社合計で達成率が106%となり、経費節減だけでなく、地球環境保護にも貢献しています。

④ 危機管理マニュアルーポケット版ー つうけんグループ全社員に危機管理マニュアルーポケット版ー（写真3）を配布しています。万一、労働災害、事件・事故、情報漏洩などが起きた場合の報告先、報告すべき内容例などを記載、またNTT様の運営する「災害伝言ダイヤル171」、「災害用ブロードバンド伝言板web171」の使用方法を記載した携帯用のマニュアルを配布することにより、いざという時の迅速な対応に備えています。

(4) 地域社会とともに

① 災害復旧対応

地震、暴風雨、雷、暴風雪による自然災害などに対し、昼夜を問わず通信事業者様からの要請に基づき迅速に対応できるよう体制を整えてい



仮設住宅



施工状況（コサインカーブハンガー）



施工状況



車止め、アウトリガー張出状況



保安状況



保安状況

写真4 災害復旧

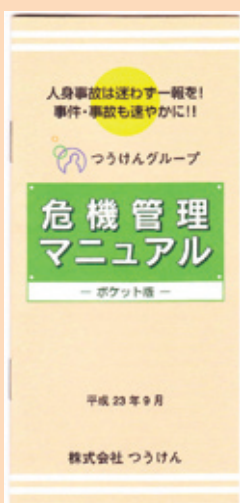


写真3 危機管理マニュアル

ます。東日本大震災に対しては、地震直後から岩手県久慈エリア、宮古エリアで既存設備、仮設住宅開通、災害電話などの復旧工事を行い、平成23年9月から平成24年3月までは岩手県宮古市～盛岡市間の光ファイバ敷設の本格復旧工事を行いました（写真4）。

また東日本大震災関連の取組みとして、東日本大震災の災害復興支援を目的とし、地方自治体等の募集により任意（ボランティア活動）で参加する社員が、一定期間災害支援活動をするための特別休暇を取得することができる「災害支援特別休暇」

制度を制定しました。

② 「インターンシップ（企業実習）」に協力

大学等の重要なカリキュラムである大学生の就業体験を目的とした「インターンシップ（企業実習）」に協力しています。2011年は8月中に1週間程度各事業所において実施いたしました。現場視察や研修センターにおいての技術研修等授業では学ぶことのできない実務を経験したことにより、労働の厳しさと責任を実感し充実したインターンシップとなったようです（写真5）。



インターンシップ (座学)



インターンシップ (実習)

写真5 インターンシップ



清掃模様



記念撮影

写真6 清掃・美化活動 (ウトナイ湖)

### ③ 清掃・美化活動を展開

つうけんでは、世界的環境遺産のラムサール条約にも登録され、260種以上の野鳥が確認されている、日本屈指の渡り鳥の中継地であるウトナイ湖サンクチュアリの清掃活動を、企業ボランティアサークル活動として長年にわたり行っており、2011年も5月に実施しました(写真6)。また明るく住みよい地域社会を目指して「日本列島クリーン大作戦」へも毎年参加し、札幌円山公園の清掃活動を行っています。

### ④ 地域社会との交流

つうけん旭川支店で、他支店・グループ会社と合同で毎年8月に開催される「旭川夏まつり」の「大雪連合神輿(たいせつれんごうみこし)」に参加しています。旭川の活性化・地域振興に貢献しながら、我々も大いに盛り上がり、長年地域交流を

図っています(写真7)。この他にも帯広支店で陸別町の「しばれフェスティバル」、室蘭支店で室蘭市の「むろらん港まつり」、北見支店で北見市の「北見ぼんちまつり」など、各支店においてそれぞれ地元の祭りに参加し、地域社会との交流を深めています。

### ⑤ 献血活動の実施

北海道赤十字血液センターからの依頼により、本社、各支店において、春と秋の年2回献血に協力しています。

### (5) 地球環境とのかかわり

#### ① 「つうけんの森」活動

環境保全および地域貢献活動の一環として、2009年に北海道石狩市と協定を結び、石狩市厚田区の約1ヘクタールに2,000本のカラマツを植樹して、「つうけんの森」をつくりました。社員、グループ会社、地域ボランティア、家族など含めた約200名で植樹活動を行いました。2010年度、2011年度と10月に保全活動を行い、今後は保全活動とレクリエーションを兼ねて、年1回活動する予定です(写真8・図4)。

#### ② 自社ビルに太陽光発電システムを導入

オフィスでも実現可能な環境保全の取組みとして、2006年につうけん厚別ビルに最大出力10kWの太陽光発電システムを導入しています。得られたエネルギーをオフィスで利用し、二酸化炭素削減に貢献しています(写真9)。

#### ③ エコカーの導入

事業活動における環境負荷の低減



写真7 旭川夏まつり



総勢200人による植樹活動



「つうけんの森」づくり植樹祭

写真8 つうけんの森



図4 吸収量認証



太陽光発電システム (10kw)



発電状況等の表示装置

写真9 太陽光発電システム

として、2010年度より本格的に、ハイブリッド車や軽自動車の導入を行っています。毎年数台ずつ導入し、最終的にはハイブリッド車や軽自動車代替できる全ての車両に導入を図る予定です。

#### ④ 環境負荷データの見える化

本社、支店などの事業所ごとに各種エネルギー使用量（電気、水、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油）、紙使用量、廃棄物（燃やせるごみ、資源ごみ）排出量などを月単位で集計し社内Web上で公開して、全社員がデータを見ることが出来ます。

データは実績に対し前年比較を行い金額も表示され、一人ひとりが省エネ意識を持って取り組むよう促しています。

#### (6) ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンスについては、当社は、取締役会を当社事業に精通する取締役で構成することで経営効率を高める一方、社外監査役を含む監査機能の充実を図り、経営の健全性の維持強化に努めています。さらに、コンプライアンス、リスク管理をはじめとした企業の社会的責任を果たし、公明正大で倫理性の高い企業活動を推進するため、グループ全体の内部統制システムの整

備を図っています。

### 3. おわりに

以上、つうけんグループが取り組んでいるCSR活動について紹介させていただきました。今後も北海道の情報通信網の整備にあたり、その歴史と実績をベースに情報通信ネットワーク構築からコンピュータ・ソリューションまで一貫したITサービスを提供する企業集団として、ひとと環境にやさしく、安心、安全をおとどけし、地域社会の発展に貢献していきたいと考えています。